



# 千葉労働動員

国鉄千葉動力車労働組合

〒260 千葉市中央区要町2番8号(動力車会館)  
電話 (鉄電) 千葉 2935・2936 番  
(公) 043 (222) 7207 番

94.3.17 No. 3961

# 幕張電車区 必要な合理化内構

## 仕業三徹減、 外勤一徹減!

千葉支社は、三月三十一日以降、幕張電車区で、現在八徹体制で行なわれている仕業検査業務を五徹体制に、同じく八徹体制で行なわれている構内運転業務を七徹体制とする合理化攻撃を強行しようとしている。業務量は全く変わるわけではない。純粹の労働強化であり、そして、車両故障の臨検対応や異常時対応の全面的な切り捨て攻撃だ。この提案に対して、三月十六日に団交が行なわれた。しかし回答は、何の具体的な根拠も示さな

## 土日の臨時検査 対応について

組 提案の要員体制では、機動検査班が休みになる土・日に臨時作業が発生した場合、全く対応できなくなる。今までは多少余裕があったので、臨検対応も仕業検査でできていたが、今回のダイヤでは日勤帯に仕業のタタキが集中している。しかも、土・日は当局の指揮命令系統もないので、仕業検査が手いっぱいになってしまう。空いている者が

お互いに声をかけ合って臨時作業をしにくいこともできなくなる。区の説明会でも、「区総体で対応する」としか言わない。

当 これからは、作業ダイヤが厳しくなるということだが、多少は詰まっているが、全く余裕がなく、構内を渡り歩いて仕業検査ばかりをやっていると言う状態ではないと考えている。また、大きな臨時作業は計画的に実施しており、土・日にそんなに大きな臨時作業が起きると思っていない。土・日の臨時検査件数の実績もあるが、対応できると判断している。

組 それは机上だけの論理だ。幕張電車区の広い構内で、一件の検査も、場所によっては異動時間等相当な時間がかかる場合が多い。しかも電車も古くなっている。また、実績というが、現実には、検査に行っても、部品交換の必要がなかった場合などは、実績には上がっていない。そのようなことは支社も承知しているはずだ。

当 確かに、現場長の判断の範ちゅうの事項と思うが、現在

の体制で充分対応できると考えている。

## 早朝の作業体制について

組 提案の作業体制では、早朝四時三〇分から六時三〇分まで仕業検査が二人体制となるが、この二人は、余熱対応で作業に出してしまうので、結局出区が集中する一番重要な時間に仕業検査が誰も居なくなってしまう。乗務員からの申告等で、検査の要請があった場合どうするのか。

当 その場合には、トークバックで、余熱作業に出ている者を呼ぶことになる。また、実績を見ても、この時間帯の臨時検査対応は、月に十一〜二十件なので、対応できると判断している。

組 作業に出してしまえば、トークバックなど聞かえないことが多い。また、実績というが出動している回数は現実にはもつと多し。

当 トークバックで呼び出せない場合は構内助役が対応すること。構内助役は、電車のことなど全く知らない。検査などやったこともないではないか。

組 言っていることが、あまりにも現実とかけ離れている。

この時間帯の作業は、乗務員が出区点検に行つて、初めて故障に気がつき、検査を手配するので、出区までの時間が十分とか二〇分しかない状況のなかでの検査になる。現実には支社の言うようなことができるはずがない。支社の言っていることは、机の上でだけ通用する議論だ。「できるだけだろう」「大丈夫だろう」ということに過ぎない。

当 「だろう」とは言っていない。充分対応できると言っている。何の根拠もなく、現実には不可能なことをあげて「対応できる」と言い張るような無責任な対応は問題だ。支社としては対応できると考えている。(繰り返し) 【次号に続く】

### 3.27三里塚現地へ

とき 3月27日(日) 12時から  
とこ 成田市・天神峰  
集合 成田駅・改札前 10:30  
各支部 全力動員!